

2024「夏号」

JAとよころ広報誌

夏

か が や き



vol.223



第46回 通常総会

役員改選・特別農政対策の特別決議

5月17日開催の通常総会は本人出席のほか委任状と議決権行使書面を含め191名が出席しました。

冒頭は山口組合長より「令和5年度を振り返ると、春耕期から天候に恵まれ、小麦・馬鈴薯は増収したものの、豆類・甜菜はその後の長雨や酷暑による影響から大きく減収になった。また個体販売価格は低迷し、生乳生産においても酷暑による被害を受けた。取扱高127億円は過去5番目に高い実績であるが、営農資材品の価格高騰が起因し、農家経済にとっては依然厳しい年であった。本町の農業は以前より町や関係機関の支援により生産基盤整備の強化に注力し、成果達成のため行政と共に継続して努力を重ねたい。本年は組合員皆様にとって報われる一年になるよう役職員ともに祈念している。」と開会挨拶を述べました。

按田武町長より町政の取組指針および組合員の日頃の町政への協力に感謝と総会の盛会への祝辞を頂戴し、続いて系統連合会を代表してJA北海道中央会帯広支所 山本支所長が国の農業施策、JAグループの取組内容、系統連合会への理解と協力の感謝を述べました。

議事の進行に際しては、議長に遠藤秀徳さん、武隈良宏さんを選任し議案書に沿って議事を諮りました。議事は決算報告の令和5年度決算貸借対照表、損益計算書、注記表並びに会計監査人監査および監事の監査を報告し、議案は事業報告、剰余金処分案、令和6年度事業計画、役員選任、第7次農業振興計画・中期経営計画など全10案を提出し、審議の結果、全て原案通り可決しました。

事業計画の大綱（一部抜粋）

【JA運営の好循環】を実践するため、組合員との対話を通じて加速する社会・経済環境の変化へ適応し、持続可能な経営基盤の強化と人づくりに取り組んで参ります。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、期待に応える良質な農畜産物の提供に地道に取り進むべく、組合員をはじめ役職員が一丸となった活力あるJAづくりを推進して参ります。

【実践事項】

- ◆出資金増口計画
- ◆緊急暗渠排水整備事業
- ◆電気牧柵導入・猟友会の駆除に対する助成措置
- ◆土壌・飼料分析に関する助成措置
- ◆家畜防疫対策 乳房炎並びにサルモネラフクチンに対する助成
- ◆第7次農業振興計画・中期経営計画の達成
- ◆農薬等使用基準の適正化
- ◆廃プラスチックの適正処理
- ◆人間ドック・脳ドック・PETがん検診の受診奨励
- ◆不祥事未然防止対策・コンプライアンスの取り組みの強化

議事終了後は『特別農政対策に係る特別決議（案）』として、川口修専務理事より「参議院議員の新たな候補者として東野秀樹氏（全国農業者農政運動組織顧問 元JA道北なよろ代表理事組合長）を自らの代表として選出した。JAグループ北海道の組合員、役職員一人ひとりが、農政活動の意義と必要性を理解し、自らの組織への強固な結集を通じ、思いを政策として実現できる推薦候補者を国政に送り出す。」を決議し、出席者から満場の拍手を戴きました。

また、本総会において役員の任期満了により、理事9名監事3名を選任しました。なお、総会後の理事会において次の通り役職が決定しました。



役員退任にあたり

総会終了後、今年退任する松崎文一理事、宝田博幸理事、岡崎明良監事、星野隆理事の4名に感謝状及び花束の贈呈を行いました。



〈左より〉岡崎監事、星野理事、宝田理事、松崎理事

今までお疲れ様でした！ 皆様の更なるご活躍を祈念致しております！

新役員体制



代表理事組合長
山口良一



専務・融資審査担当理事
川口修



常務・信用担当理事
門邦彦



総務・経済常任委員長
相澤博美



総務・経済常任副委員長
井村康弘



理事
植村有見



理事
吉田孝



理事
岡光隆司



理事
松崎直弘



代表監事
按田憲一



監事
相澤和幸



員外監事
和田宏樹



役員就任にあたり

常務・信用担当理事 門 邦彦

この度、第46回通常総会において理事の選任を頂き、その後の理事会において6月1日より常務理事を拝命致しました。改めて責務の重大さを実感しております。

農業を取り巻く環境は、世界情勢、為替動向により飼料・燃料・資材等の価格が高止まりする中、コスト上昇分は生産物価格への転嫁が進まず、非常に厳しい経営環境に追い込まれている現実があります。今通常国会において「食料・農業・農村基本法」の改正が成立致しました。今回の改正で「食料の安全保障」が理念として謳われておりますが、日本の農業を守るために「農畜産物の適正価格の堅持」を前提として「経営継続するための緊急時における十分な補填」の制度化が重要となります。

J Aの役割である「地域と組合員の営農と生活を守る組織」として、過疎化が進む中、地域農業を守っていくためにも、健全な事業運営と機能の充実が求められており、負託に応えられる身近な組織づくりに努めていく所存です。これまで諸先輩方のご尽力によって築き上げられてきた「豊頃町農業の力強い生産基盤と精神」を衰退させることなく、将来に渡って発展、継続させる責任があると考えておりますが、もとより私自身は微力でありますので、職務を全うするためには、組合員、役職員及び関係各位のご協力を切にお願い申し上げるところであります。結びになりますが、本年の豊穰の出来秋と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

理事 松崎直弘

この度、第46回通常総会の役員改選において理事の選任を頂きました。高校卒業後、農業に従事して農業者、社会人として、沢山の方々に育てていただきました。その恩を返すべく、この役を全う致したく力を尽くして参ります。

最近の農業情勢は気象変動、物価高騰等への対応に課題が山積し、営農を困難にさせている状況が続いております。その課題等を克服できるように努めていきたいと思っております。組合員皆様の営農さらには農協事業運営に対し、少しでも早くお役立ちできるよう勉強していきたく思いますので、組合員皆様のご指導をお願い申し上げまして、就任の挨拶に代えさせていただきます。

理事 岡光隆司

この度、第46回通常総会において理事に選任頂き就任することとなりました。

改めてその責務に身の引き締まる思いです。

近年農業を取り巻く情勢は物価の高騰や気候変動の影響により一層厳しさを増しております。このような中ではありますが組合員一人一人が危機感を持ち農業経営と向き合わなければなりません。さまざまな変化に対応して来た組合員の皆様とともにまたご指導を頂き、微力ながら勤めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

これから農作業が本格的に繁忙期に入りますが、事故・健康に十分に留意され、実り多き出来秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

監事 相澤和幸

この度、第46回通常総会において、役員改選があり地域の皆様から推薦を受け監事の職を拝命致しました。監事職の重要性和責任の大きさに改めて身の引き締まる思いです。

昨今、農協業務で様々な不祥事が取り沙汰され、自分に何ができるのかをしっかりと勉強をし、按田代表監事、和田常勤監事にご指導を受け微力ながら皆さんのお力になれるよう任を全うする決意です。

農業情勢も飼料・肥料・資材等高止まりの中、経営圧迫は依然続いております。投資と所得のバランスを農協と組合員とがそれぞれ考えていかなければなりません。その中で健全なる農協運営を監事の立場で参画したいと考えております。

まだまだ未熟者な私ですが、今後も組合員、役員、職員の皆さんの声に耳を傾けていきたいと思っておりますので、これからもご指導、ご協力をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

酪農3団体 定期総会



豊頃町乳牛検定組合、豊頃酪農ヘルパー有限責任事業組合、豊頃町酪農振興会の3団体は『定期総会』を開催しました。

各総会は全議事を可決承認し、役員改選を行いました。

乳牛検定組合の田頭保組合長は「昨年度は酷暑により乳牛のダメージや受胎のズレにより乳量の減少のほか乳成分に影響を及ぼした。ひきつづき当組合の検定事業の実施により、乳牛の資質改良につなげ、安定した酪農経営確立につとめたい。」とし、北酪検の補助金収入を含む事業予算は昨年度と同等の計画案を承認しました。

ヘルパー組合はインボイスに対応した規約の変更を承認しました。井下清組合長は「令和5年度は職員2名からスタートし、期中に1名増加、初の試みとして11月より南十勝のヘルパー組合と個人事業者との連携をスタートし、苦慮の年であった。本年度はさらに職員2名を採用し、5名体制が可能となった。」とし、会中、新採用を含む職員の紹介を行いました。事業予算中の基本料収入においては、職員5名に南十勝組合より52人区を加え、前年度対比160%増の試算を行いました。また、「職員の育成はもちろん、学校訪問も検討し更なる増員の声にも応え、組合員皆様の農休日の確保に貢献したい。」としました。

酪農振興会は農家戸数の減少から理事数の減員を承認しました。冒頭、相澤和幸会長は「昨今、営農資材費高騰や円安など暗い話が多いが、降り止まぬ雨はない。どのような状況においても昨年を振り返りながら、生乳中抗生物質検査キットの利用検討やさらなる家畜疾病防止対策等に注力し、事業計画を実施して頂きたい。」とし、任期を終えました。役員改選後の津久井直弘新会長は「コロナ禍に伴う生産抑制もある中、前会長の苦労は甚大だった。私一人の力では本会をすすめるのは至極困難である。皆様の協力を戴きたい。」と述べました。

~~~~~



## 豊頃町農政協議会 令和6年度定期総会

4月10日、令和6年度定期総会を開催しました。

議事では令和5年度運動経過報告、収支決算報告の承認のほか、令和6年度運動方針案、収支予算案の承認など全6議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。



# 和牛生産改良組合 春季講習・総会

4月12日にJA本所において、『春季講習会』および『第36回豊頃町和牛生産改良組合定期総会』（武隈英和組合長）を開催しました。

春季講習会では、JA畜産課より優良繁殖雌牛の更新奨励金（優良繁殖雌牛更新加速化事業）の支援内容を説明しました。武隈組合長は、「8産以降の産子はBMS（牛脂肪交雑基準）が極端に下がる。現在は廃用牛の市場相場が高く、繁殖雌牛の市場価格が低い。また、奨励金を活用できるため更新には良好な時期である。」と述べました。参加生産者には各自の牛群年齢構成の個別資料を配布し、「各自が更新度合を把握しているかが、販売価格へ影響しているのでは。」と問いかけました。また、次回の全国和牛能力共進会が北海道開催であることを受け、「地元開催のためみんなが出品できるように努めたい。出品該当牛リストの作成が喫緊な課題であり、交配を計画的に進めるべきである。また、全道および十勝の共進会では全共に合わせた出品区割りへの変更が予測される」と説明しました。

定期総会では、中原淳一さんを議長に選任し、令和5年度事業・収支決算報告・監査報告、剰余金処分、令和6年度事業・収支計画、会費・負担金の徴収方法、各種事業の実施案等の全8議案を出席部員全員の賛成により承認しました。また本年度の役員改選はありません。令和5年度の事業実績として、本町は受精卵活用拡大傾向であること、市場では去勢・雌牛ともに十勝平均を上回る評価を購買者から受けたことを報告しました。



## 豊頃町総合家畜共進会

5月31日、豊頃農業機械センター倉庫にて町総合家畜共進会を開催しました。19頭が出陣し、十勝農業協同組合連合会酪農畜産課主幹の千葉拓哉氏による毛並みや足及び胸部の力強さなど一頭一頭じっくり審査を行いました。最高位に株式会社武隈ブリーディングファーム出品の「ひらみ9の5」、準最高位に篠島太郎さん出品の「ふくひで5」が入賞しました。

なお、各部門の成績は以下のとおりです。



### 黒毛和種の部

◎第8部（11ヶ月以上～14ヶ月未満）未経産  
首 席 き み え 95

（株式会社 武隈ブリーディングファーム）

優秀賞 む ぎ ほ（日下貴弘）

◎第9部（14ヶ月以上～17ヶ月未満）未経産  
首 席 ひらみ9の5

（株式会社 武隈ブリーディングファーム）

優秀賞 ふくひで5（篠島太郎）

◎第10部（17ヶ月以上～20ヶ月未満）未経産  
首 席 あ き（愛澤利憲）

優秀賞 さ く ら（間所明暁）

◎第11部 経産

首 席 あ か り（藤井裕也）

優秀賞 あ い こ 8（原田二次雄）

## 第53回 十勝ブラックアンドホワイトショウ

5月17日、十勝農協連 家畜共進会場（音更町）にて第53回十勝ブラックアンドホワイトショウが開催され、JA豊頃町からは山口雄峰氏が4頭を出陣しました。日頃より丁寧に飼養管理した自慢の牛を出陣しましたが、残念ながら上位入賞とはなりませんでした。

審査員の佐藤孝一氏（広尾町）が骨格のバランスや高さ、乳器などを一頭一頭じっくりと審査を行い、グランドチャンピオンには清水町のTMFヤコブスサイドフィーバーケールアユETが選ばれました。





# 牛頭祭・入牧

5月下旬より始まる町営牧場への乳用牛の入牧に先立ち、5月15日に二宮牧場の一角において（作業の安全や乳牛の成育向上のため）放光寺住職が祈禱を行いました。当JAの川口修専務理事のほか、町・JA・NOSA支所職員が参拝しました。参席者の焼香後、川口専務は「昨年度の牧場業務においては事故なく終了した。本年度においても受託牛も作業職員も健康で、事業を安全に終わることを切に願っている。お参りいただきありがとうございました。」と挨拶を述べました。

幾千世牧場の閉鎖により、昨年度にひきつづき黒毛和牛41頭を入牧しました。また、近年は受託牛頭数の減少によりトイトッキ牧場は未稼働でしたが、本年度より対象範囲を拡大し、3牧場（二宮・湧洞・トイトッキ）合計735頭を入牧しました。

## 農野牛地区 青空教室

6月26日に武内創さんの小豆圃場（農野牛地区）において青空教室を開催しました。

農業改良普及センター十勝東部支所より主要農作物の生育状況と今後の栽培管理についての講習後、有機肥料（鶏糞）の活用試験を行っている圃場を実際に確認し、参加者を交えながら有機肥料活用についての意見交換を行いました。講習の最後には農作業事故、熱中症への注意喚起がなされました。



## 小麦青空教室・夏期講習 麦作振興会



4月11日の川口修さん圃場で開催した小麦の青空教室には生産者約45名が集まりました。十勝農業改良普及センター東部支所からは、本年産小麦の現況は、越冬状況が概ね良好であるものの、茎数が多く穂数の過多が危惧される旨の報告がありました。それを受け、今後の施肥管理では「茎数による追肥時期の遅らせ方」の説明があり、まとめでは適正穂数に抑えることで、十分な追肥

効果と光合成を成し、安定的な生産を目指すよう提案がありました。

6月20日はWellbeFarm株式会社（植村有見代表取締役）の圃場に生産者約40名が集まりました。止葉期の茎数は平年並み、出穂揃の生育は4日早い状況です。同センター支所は、町内において赤さびの発生は無く、一方アブラムシ類の発生があり、赤かび病に備え基幹防除を奨めます。ほか、今秋の小麦播種に向け越冬前の5葉確保を目標に、農協前と二宮アメダスの2点から直近10年間の9月中旬以降の積算気温470度以上580度未満の期間を示しました。播種適期は農協前9月22日～26日、二宮9月19日～9月23日、遅まき（4葉確保）の晩限は農協前9月29日、二宮9月27日と予測しました。





## すみれ部会 東北方面道外研修

すみれ部会（部会長 愛澤悦子）は、2年に1回、道外研修を開催しており、東北の桜は北海道と違う品種（シダレザクラ・ソメイヨシノ等）だから一度はみんなで見に行きたいと、毎回計画を立て行けずの繰り返しでしたが、今回は「満開じゃなくてもいいので行こう」の一声で昨年より計画を立て4月9日～12日、3泊4日、17名で宮城・福島方面に行ってきました。

1日目、新潟空港から会津若松に向かう道中、まだ雪があり桜の時期ちがったかあとと不安がありました。2日目鶴ヶ城見学。最高の桜日和。桜が咲いていたらいいのにと思いながらバスで向かいました。なんと桜が咲いているではありませんか!!足取り軽く鶴ヶ城を散策し思う存分写真を撮りました。次に向かったのは樹齢1000年以上といわれる一本の桜の木「三春の滝桜」。観光客が列を作る中、ほぼ満開。見上げるほどの大木に魅了されました。思う存分桜を満喫し本日の宿はスパリゾートハワイアンズ。みんなで赤いムービーに着替えショーを見に行きました。迫力満点のショーに圧倒されました。3日目仙台に移動をしながら桜並木を車窓から眺めたり、遊覧船に乗りゆっくりと松島を観光しました。最終日は仙台市内を各自で散策し帰路につきました。参加者全員両手いっぱい、バスいっぱいにお土産を持って元気に豊頃町に帰って来ました。また、明日から仕事頑張るね、また桜見に行きたいねと名残惜しそうに解散しました。



## ミセス部会 夏季研修

ミセス部会（部会長 木幡恵里香）は、6月3日～4日の一泊二日で砂川のSHIRO・芦別・札幌方面へと行って来ました。

2023年に砂川にSHIROという化粧品を製造する工場（みんなの工場）が出来たので見学をしに行きました。まだ、真新しくおしゃれな工場。ガラス張りで見学工程がどこからでも見るようになっていましたが、残念ながら製造はしていませんでした。SDGsを目指し廃棄0（ゼロ）活動に取り組む企業、砂川市民の声を取り入れた場所がありとても素敵な工場でした。また、体験コーナーがあり、自分の好きな香りを作ることができるという事もあり体験をした部員はとても真剣に選んで調合していました。

今回は芦別にあるホテルに宿泊しました。お風呂cafeということもあり時間でアルコールや締めパフェ、本が読める空間と日常生活を忘れゆっくりできたのではないのでしょうか。

今回は、SHIROの化粧品工場を行程入れました。女子力UPできたでしょうか…。



## フレッシュミズ部会 管内研修

5月30日～31日（部会長 根本留美）管内研修をおこないました。

参加者が大人5名・子供4名と少人数ということもあり自家用車2台で、鹿追で昼食を食べ、サホロベアマウンテンへ向かいました。ベアマウンテンではバスに乗り園内を移動しながらクマを間近で見て、ポイントで（施設内）水の中を泳ぐクマを子供たちと「大きいね」「怖いよ」と言いながら写真を撮りました。遊歩道を歩きながら上からクマが



どこにいるのかをみんなで探しながら園内を一周しました。歩き疲れた子供たちは車でお昼寝タイムとなり、宿泊先の十勝川温泉へと向かいました。夕食はみんなでビュフェを堪能しました。

今回は近場となりましたが、みんなで楽しく旅行ができた一同大満足でした。



## の窓 フレッシュミズ部会 パーソナルカラー講座

4月24日（部会長 根本留美）、本所研修講義室にてパーソナルカラー講座を開催しました。

講師にヒーリングルーム Me-nou 代表鳥宮文さんを招き部員6名で行いました。

パーソナルカラー診断の基本は、肌の色・髪の毛の色・瞳の色によって2種類（ブルーベースは【夏・冬】イエローベース【春・秋】）に分類され、持参していただいた70種類以上の布を体に当てて自分に合う色を診断してもらいました。自分が好む色と似あう色が違うことに驚き、新しい色にチャレンジしたいと言っていた部員もいました。



## ミセス部会 焼肉交流会

4月16日、ミセス部会（部会長 木幡恵里香）は、Y'S ハウスにて焼肉交流会を開催しました。今年度新しく豊頃地区の花見さん、相澤さんの2名が増えました。

新入部員の挨拶が終わり「いただきます」の号令で交流会がスタートしました。2時間弱の短い時間ではありましたが、今年度初めて部員が顔を合わせる機会ということもあり22名が参加しました。違う地域の部員たちと交流を深め、色々な話が出て楽しいひと時でした。

また、女性部の取り組みとしてSDGsに取り組んでおり、余った食材を景品としてビンゴ大会を行いました。



## すみれ部会 花壇整備



6月12日晴天の中、農協横にある花壇に黄色とオレンジのマリーゴールドを植えました。去年は、高温が続きサルビアが枯れてしまうというハプニングがあり今年は、暑さにも強いマリーゴールドのみにしました。

今年度の花植えは、豊頃・茂岩地区が担当で熊野八重子さん・鈴木慶子さんの地区役員と愛澤悦子部会長を中心に250本の花を植え10月上旬まで道ゆく人たちにやすらぎと癒しを提供します。地域ごとに分かれて10月まで各部員で花壇のお世話を行っております。



# 青年部×農協職員交流会2024



4月19日、青年部と農協職員の交流会を開催しました。総勢52名程度が参加し、焼肉を楽しみながら交流を深めました。まず、青年部長が挨拶をし、職員組合委員長の乾杯でスタートしました。会の途中には新入職員及び新入部員の自己紹介を行い、温かい拍手が送られていました。青年部と職員間、若い世代の新しい繋がりを作る良い機会になりました。

## 下り線交流会

6月10日、札内スポーツセンターにて、下り線ブロックスポーツ交流会が開催され、ミニバレー大会を通して盟友たちが交流を深めました。JA豊頃青年部からは5名が参加しました。スポーツ交流の後は懇親会で更なる交流を深め、盟友同士の絆がより一層深まる機会となりました。



## 町内団体若手交流会



6月1日、町内各団体の協力をより強固にすることを目的とした交流会が開催され、総勢27名が参加しました。参加者は4チームに分かれてパークゴルフを楽しんだ後、パーゴラにて更なる懇親を深めました。その後ロイヤルホテルにて二次会も開催され、参加者の絆がより一層深まる会となりました。

## 令和6年度 青年部&豊頃小学校 第1回食育授業を開催

豊頃小学校4年生11名を対象に、第1回目（5月）の食育授業を行いました。今回は、馬鈴薯、人参、玉ねぎ、ナスの播種・定植作業を行い、子どもたちは皆楽しそうな様子で作業に取り組んでいました。途中休憩では豊頃町産の麦茶が大変好評でした。今年の食育では今回小学生に植えてもらった野菜のほか、トマト、きゅうり、スイートコーン、さつまいもを植え付けしました。どのように野菜が成長しているか楽しみに待っててください！さて毎年予想外の所から生えてくる人参ですが、今年はうまく播種ができたかな、？収穫時期が楽しみです！





# える夢キッズクラブ 酪農体験

5月18日、「第1回える夢キッズクラブ／茂岩山探検＆酪農体験！」（主催：町教委）が開催され、当農協青年部の役員をはじめ畜産部会員が農業体験の講師として町内の小学生21名に農作業を伝える活動を行いました。当日は前年に引き続き加島牧場にて酪農体験（手絞り体験・哺乳体験・餌やり体験）を行いました。

手絞りでの搾乳体験では最初は恐るおそるでしたが、ミルクが出始めるととても楽しそうでした。哺乳体験では同じくらい目線の子牛たちが哺乳器を吸う力強さに驚きつつも懸命にミルクをあげていました。子どもたちは牧場内の施設見学、哺乳体験や搾乳体験をととても楽しんだ様子で、「また来年も牧場に来たい！」という声が多くあがっていました。



## 青年部管内研修を実施！



6月6日に管内研修を実施しました。当日は24名の盟友が参加し、畑作部会と畜産部会に分かれて視察研修を行いました。畑作部会は帯広に本社と本社工場を構えている東洋農機㈱（帯広市）を視察し、畜産部会は全国でも希少なジャージー牛を飼育し、ジャージー牛乳の生産・出荷を行っている㈱加藤牧場（帯広市）を視察しました。東洋農機㈱は会社概要の説明後、工場内の視察見学をし、㈱加藤牧場では会社概要の説明後、各施設内を質問を交えながら見学しました。

研修後はワイズハウスにて焼肉懇親会を行い、更なる親睦を深めました。

### 斉藤京介 畑作部会長のコメント

「東洋農機の工場内を視察させていただき、最新の設備を使いながらも手作業も加えて丁寧に1台を作り上げる所を見学でき、とても参考になりました。これからも大切に機械を使っていきたいと思います。」

### 加島知典 畜産部会長のコメント

「今回、㈱加藤牧場の乳製品加工場、牧場内を視察させていただきました。乳製品の6次化について学ぶことができ、非常に勉強になりました。」

# 生き甲斐部 総会・懇親会

生き甲斐部

4月11日に十勝川温泉観月苑において、『第52回生き甲斐部定期総会』（津久井清美部長）を開催しました。

定期総会では、部員21名（うち役員10名）が出席しました。永原初男さんを議長に選任し、円滑に議事をとり進めました。令和5年度事業・収支決算報告、令和6年度事業・収支計画案、賦課の方法の全3議案を出席部員全員の賛成により承認しました。また本年度の役員改選はありません。

事業報告では、50周年記念事業実施の完了を述べ、記念誌『50年のあゆみ』を来賓および部員に配布しました。

続く懇親会では、山口良一組合長の乾杯の発声で祝宴がスタートし、本年夏季実施の道内研修先候補などについて歓談しました。盛会の中、門邦彦参事の万歳三唱の発声で会を締めくくりました。



## 組合員組織定期総会報告

令和6年度の役員体制をお知らせいたします。

### 農産関係

#### 豊頃町麦作振興会（改選）

会長 原田 二次雄  
副会長 堀田 和 稔  
副会長 木 幡 豊

#### 豊頃町加工馬鈴薯生産組合

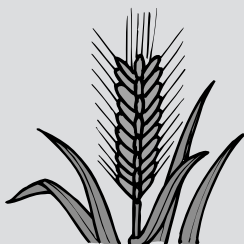
組合長 松崎 哲也  
副組合長 川口 祥正

#### 豊頃町種子馬鈴薯生産組合

組合長 植村 有見  
副組合長 平井 敦志

#### 豊頃町北星豆類採種組合

（改選）  
組合長 吉村 和敏  
企画部長兼会計 伊井田 光洋



### 畜産関係

#### 豊頃町酪農振興会（改選）

会長 津久井 直弘  
副会長 軍司 正人

#### 豊頃酪農ヘルパー

#### 有限責任事業組合（改選）

組合長 井下 清  
副組合長 高木 春樹

#### 豊頃町乳牛改良同志会

会長 鈴木 健司  
副会長 門 晃嗣  
副会長 佐藤 巧

#### 豊頃町乳牛検定組合（改選）

組合長理事 田頭 保  
副組合長理事 杉岡 慎也

#### 豊頃町和牛生産改良組合

組合長 武隈 英和  
副組合長 日下 貴弘

#### 豊頃町馬事振興会（改選）

会長 宝田 浩二  
副会長 島崎 幸喜

### 宮農関係

#### 豊頃町農協生き甲斐部

部長 津久井 清美  
副部長 山本 達実

#### 豊頃町農協青年部（改選）

部長 川口 知紘  
副部長 村上 剛丸  
書記長 井下 慎吾  
畑作部会長 斉藤 京介  
畜産部会長 加島 知典

#### J A 豊頃町女性部

部長 佐藤 嘉香  
副部長 佐竹 由香利  
副部長 鈴木 恭子  
すみれ部会長 愛澤 悦子  
ミセス部会長 木幡 恵里香  
フレッシュミズ部会長（改選）  
根本 留美

#### 豊頃町農政協議会

執行委員長 前田 精一  
副執行委員長 伊井田 慎一  
副執行委員長 安達 勝一  
書記長 高木 寿一



# 十勝川魚つきの 森植樹祭

5月11日、安骨にある町有林で十勝川魚つきの森推進協議会（中村純也会長）による「十勝川魚つきの森植樹祭」が行われました。当組合から川口専務、職員4名が参加。

5年ぶりの開催ということもあり大勢の方が植樹祭に参加しました。



## 成田 綾乃 さん 優良検定員表彰

5月22日、十勝農協ビルにて、令和5年度十勝乳牛検定組合総会が開催されました。

令和5年度優良検定員に豊頃町乳牛検定組合 成田綾乃氏が表彰を受けました。

管内各乳牛検定組合の委嘱を受けた検定員で5年以上引続き在籍し、地域酪農振興に努め他の検定員の模範となる検定員で表彰されました。



今月号は<sup>さいとうゆうた</sup>斉藤優太さん（27歳）の紹介です。酪農学園大学を卒業後、平成31年に入組し畜産部に配属。今年で6年目になります。

主な業務は、精液・受精卵管理、人工授精などです。

趣味は、スノーボードとサウナということですが、スノーボードは「昨シーズン一度しか行けませんでした。」と悔しそうです。一方サウナは「無心で入ります。サウナで日々の疲れを癒しています。」と語ってくれました。

そんなアクティブな斉藤さんですが、上司からは、常に新しいことを学ぶ姿勢を感じる。仕事が丁寧で正確なので、今後もその性格を生かして授精業務、畜産

業務のプロとしての成長を期待している。とコメントをいただきました。

今後の抱負を伺うと、「人工授精師として技術を磨くことはもちろん、畜産全般の知識を身につけられるように日々たくさんさんの事を吸収して頑張ります。」と語ってくれました。





## 豊頃町・JA豊頃町は活用をおすすめします！

どなたが利用しているかは、豊頃町にもJA豊頃町にも信金各支店にも知らされません

### ◇ 会員資格

1. 十勝管内にお住まいの方
  2. 法的にも実生活上においても独身の方
  3. 結婚したいという明確な意思のある方
  4. 反社会的勢力ではないこと
  5. 入会時原則20歳以上50歳以下の方
- (会員有効期間は入会日より3年とします。但し、有効期間満了時に50歳以下である場合に限り、会員の希望により期間の延長が可能です。)

### ◇ 申込方法



① おびしんキュービット事務局へお電話下さい

申込手続きのご案内と事務局にお越しいただく日時の打ち合わせをさせていただきます。

**0155-67-7845 事務局直通 受付時間/平日 10:00～18:00**



② 帯広信用金庫のホームページからの仮申込

<http://www.obishin.co.jp>



③ QRコードからの仮申込



※②③による仮申込の場合は、事務局より面談日程について、電話により確認させていただきます。

### ◇ 入会にあたりご用意いただくもの

1. 申込書類（当会制定の入会申込書、プロフィール、誓約書）  
(申込書類等は、帯広信用金庫本支店の窓口または事務局へ電話いただきましたら郵送致します)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書（無い場合は要相談）
4. 収入証明書（源泉徴収票など）
5. 申込書用写真1枚（縦横5cm程度、上半身の証明写真）
6. プロフィール用写真2枚（手札型8cm×12cm全身1枚、上半身1枚）
7. 入会預り金 10,000円（退会時に全額返却します）
8. 印鑑（認印で可）
9. 身分証明書（運転免許証等）

### ◇ おびしんキュービットのシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィールおよび写真」を見ていただきます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し、了解が取れれば、お見合いをしていただきます。（会場は帯広信用金庫第2ビル内）
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月間の交際期間を設けます。

交際期間のなかで、「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただきます。



### おびしんキュービット事務局

〒080-0012  
帯広市西2条南7丁目7番地2  
帯広信用金庫第2ビル内

**0155-67-7845 (直通)**

受付時間 10:00～18:00 土曜・日曜・祝日は休業



# JA北海道中央会より新入職員2名を受け入れ

JA北海道中央会 新岡 拓土 さん

この度は、豊頃町農協でお世話になりましたJA北海道中央会総合管理室共通広報の新岡拓土です。今回の実習では、農家を最前線で支える農協での各部署の実習や様々な施設見学と畑、酪農家での実地実習という貴重な体験をさせていただきました。

農協の実習で中でも印象に残っているのが、ホクレン肥料の帯広工場を見学させていただいたことです。一日の製造量もさることながら、フレコンの大きさに圧倒されました。また、BB肥料を製造する大型機械の説明の際には粒の大きさを均一にするのは職人一人の技であるという話を聞いてその細やかさにも驚かされました。一方、実地実習で印象に残っていることはビートの補植と馬鈴薯の種芋植えです。心地よい風を感じながら広大な畑を自分の足で歩いてビートの苗を植えるという経験は自分にとって新鮮でした。また、馬鈴薯の種芋植えの際には、特に農機具に驚かされました。畑を耕すにもボタン一つで事前に組んだプログラムを実行しながらGPSを元に走行したり、種芋の切断、植えた後の土かけも4列同時に一台でこなしてしまうなど、自分がイメージしていた農機具よりも遥か先の進化を遂げていました。

今回の実習を通して、私たち職員のベースは現場、生産者にあるという意識と、その一方で生命産業に携わっている自負心を持って業務に当たらなければならないと思いました。また普段口にしていない農畜産物は我々消費者の想像の何倍もの努力が詰まった結晶であるということも痛感し、今後業務をするにあたり消費者の皆様にもこのことを知っていただき、国消国産を応援していただけるよう邁進していく所存です。



JA北海道中央会 芳野 裕太 さん

豊頃町の畑作農家、酪農家、JA豊頃町にて4月23日から5月18日までの約1ヶ月間研修をさせていただきました。

畑作では、電気牧柵の設置、ビートの補植、種イモの植え付けをさせていただきました。今まで、畑での本格的な作業を体験したことがなかった私にとって、広大な自然の中で作業を行うことは新鮮であり、農作業の楽しさを感じることができました。酪農では、牛の乳搾り補助、給餌、牛舎清掃等をさせていただきました。これまで牛に触る機会などほとんど無かったので、酪農という仕事が想像できない部分がありました。実際に仕事を体験することで、限られた時間の中でかなりの量の仕事をこなさなければいけない酪農家さんの大変さとやりがいを感じることができました。JA豊頃町では、各課にて行っている業務の説明、業務体験などをさせていただきました。研修を通じて、豊頃町の魅力や特徴、JAが具体的にどのような業務を行っているのかを学ぶことができました。

今回の研修の中でJA豊頃町の方々や農家の方々と接することで、農業を営むことの大変さ、そして楽しさについて感じるものが多くありました。今回学んだ様々な経験を、これからの業務に活かしていきたいと思います。

農業研修レポート



新人研修

農産部 農産課 農産販売係

阿部 拓巳

酪農研修では主に搾乳や子牛の餌やりを行いました。実際に近くで見る牛は想像よりも大きく、子牛の世話など初めての体験ばかりだったので緊張しましたが、按田監事や従業員の方々にやさしく教えていただいたので、リラックスしながら作業することが出来ました。また、牛の病気や飼料など今まで遠くから見ていただけだった酪農を間近で体験し、話を聞くことが出来たのでとても勉強になりました。

畑作研修では、種芋の抜き取りとスギナや野良小豆などを抜く圃場整備を行いました。種芋の品種ごとの生育の違いや病気への抵抗性、草姿の特徴による見分け方を教えていただき、実際に品種間の生育速度の違いを比較して確認出来たほか、てん菜の病気や農薬が効きにくく防除に手のかかる雑草についても知ることが出来ました。

今回の研修では、按田監事のお宅で2日間、植村理事、井村理事のお宅で1日間ずつ研修をさせていただきました。計4日間の短い間ではありましたが、多くの知識を身に着けることが出来ました。研修での体験をこれからの業務に活かしていけるよう努めていきたいです。この度はお忙しい中研修をさせていただき、本当にありがとうございました。

農産部 農産課 農産係

増子 丈

今回、研修期間は計4日間という短い間でしたがとても貴重な体験となりました。内容は主に、酪農は搾乳と育成を朝と夕方に行い、畑作は種芋の抜き取りや除草作業を中心に行いました。

どちらの研修においても自分の知らないことばかりで農業の奥深さを身にしみて感じました。同時に、たくさんのことを学ぶことができた大変有意義な研修となりました。これから業務を担っていくにあたって、このことを忘れずに今後の業務に生かしていこうと思いました。

今回、お忙しい中この研修の機会を設けて下さった方々、並びに研修を受け入れて下さった組合員の方々に感謝申し上げます。この感謝の気持ちを決して忘れず、業務に勤めてまいりますので、これからも何卒宜しくお願い致します。



編集後記

農繁期を迎え、暑い日が続きますが、熱中症対策など体調管理や農作業事故にご注意いただければ幸いです。

今回取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

企画係 T.M